



2022年8月8日

各 位

会社名 株式会社 TSON  
(コード番号 3456 TOKYO PRO Market)  
代表者名 代 表 取 締 役 荒木 健次  
問合せ先 取締役経営管理部長 二村 孝博  
T E L : 052-589-6055  
U R L : <https://www.tson.co.jp>

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2021年8月10日に公表いたしました2022年6月期通期業績予想を、最近の業績動向を踏まえ下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期業績予想の修正(2021年7月1日～ 2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,256	325	265	172	368.89
今回発表予想 (B)	3,659	85	44	31	67.83
(増減額 (B-A))	△597	△240	△221	△141	—
増減率 (%)	△14.0	△73.8	△83.4	△81.6	—
(参考) 前期実績 (2021年6月)	2,344	151	137	90	192.54

#### 2. 修正の理由

##### ● L F 事業部

不動産ファンド事業

【売上】 予算 2,158百万円 実績見込み 1,804百万円

組成計画と完成時期の遅れが生じたファンドが4ファンド(売上ベースで450百万円)あり、その影響により売上が計画を下回る見通しです。

## 分譲戸建事業

【売上】 予算 2,078百万円 実績見込み 1,833百万円

当期の分譲戸建事業は、用地仕入において、計画では99棟を予定しておりましたが、厳選仕入を行ったため64棟の実績見込みに終わり、期末までに売上可能物件を十分に揃えることができませんでした。その結果、販売棟数を伸ばすことができず、売上は計画を下回る見込みです。

## LF事業部全体

【営業利益】 予算 490百万円 実績見込み 315百万円

不動産ファンド事業において、投資家からの出資募集業務において、不動産投資商品の投資家への周知や出資を促すことについて様々な施策を打ち出した結果、会員数を大幅に確保することができましたが、当該施策に関する広告宣伝費等の増大を招きました。

一方、分譲戸建事業においては、販売棟数が計画を下回ったため仲介手数料が減少しました。

しかし、LF事業全体においては、売上減少に伴う売上総利益の減少、および計画以上に販管費を使用したことにより、営業利益は315百万円になる見通しです。

## ●テック事業部

【売上】 予算 41百万円 実績見込み 44百万円

テック事業部は、不動産A I「勝率一番」の認知度が高まり、顧客数が増加し販売額が増大する見込みです。

【営業利益】 予算 3百万円 実績見込み 4百万円

同A Iを改良し、機能アップを図るべく2名採用したことによる採用費とその人件費の増大を主な要因として、販管費は増えましたが、販売も同じくらい伸びましたので、営業利益は予算より微増する見通しです。

## 【経常利益】

営業利益の減少によるものが△240百万円、営業外収益によるもの3百万円（雑収入）、営業外費用の減少△15百万円により、経常利益は、予算265百万円に対し、44百万円になる見通しです。

## 【当期純利益】

予算172百万円に対し、31百万円に修正いたします。法人税等につきましては、12百万円見込んでおります。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上